

〔科目名〕 経済特殊講義Ⅳ(経済学説史)	〔単位数〕 2単位	〔科目区分〕
〔担当者〕 中井 大介 Daisuke Nakai	〔オフィス・アワー〕 時間: 授業の前後で受け付けます。 場所:	〔授業の方法〕
〔科目の概要〕 アダム・スミスにはじまり、マーシャルやケインズを経て現代へと至る、経済学の歴史を概観します。各回1～2名の重要な経済学者をピックアップし、彼らの学説とその現代的意義について検討します。とくに、マイクロ経済学とマクロ経済学が形成された歴史的プロセス、あるいは非主流の経済学の特徴などに注目します。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 経済学が発展してきた歴史的経緯を学ぶことで、経済学の全体像を把握することが可能になります。また、マイクロ経済学とマクロ経済学のそれぞれの特徴や両者の関係などについても、より正確に理解することが可能になります。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 ・中間目標 当面の目標は、経済学の誕生から現代へと至る経済学の歴史に関する基本的知識を、受講者各自が習得することです。 ・最終目標 長期的な目標は、数理的・理論的アプローチとは異なる、過去の経済学の思想的・哲学的アプローチから、現代の経済問題解決への糸口を探ることです。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 講義内容の改善、一部変更などを適宜行う予定です。また復習課題によって、講義内容の更なる定着を図ることも検討しています。		
〔教科書〕 毎回プリントを配布するため、教科書は使用しません。		
〔指定図書〕 特になし。		
〔参考書〕 授業中に読書案内として適宜紹介します。		
〔前提科目〕 特になし。		
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 講義中課題とレポート課題から総合的に評価します。		
〔評価の基準及びスケール〕 評価 得点比率 A 80%～100% B 70%～80%未満 C 60%～70%未満 D 50%～60%未満 F 50%未満		

<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 配布のプリントとスライドを用いて授業を進めますが、講義内容をよりよく理解するためには適宜メモなどをとることが有用であると思います。また、講義スケジュールは変更する場合があります。</p>	
<p>〔実務経歴〕 該当なし。</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): ガイダンス 内 容: 講義計画や目的について</p> <p>教科書・指定図書: スライドおよび配布プリント</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): スミスと経済学の誕生 内 容: 経済学誕生の歴史的背景やスミスの学説について</p> <p>教科書・指定図書: スライドおよび配布プリント</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): リカードとマルサス 内 容: リカード・マルサスの学説や穀物法論争・人口問題について</p> <p>教科書・指定図書: スライドおよび配布プリント</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): ミルと古典派経済学の完成 内 容: 古典派の特徴や定常状態について</p> <p>教科書・指定図書: スライドおよび配布プリント</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): マーシャルとマイクロ経済学 内 容: ミクロ理論誕生の歴史的背景について</p> <p>教科書・指定図書: スライドおよび配布プリント</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): ピグーと厚生経済学 内 容: 厚生経済学のルーツについて</p> <p>教科書・指定図書: スライドおよび配布プリント</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): ケインズとマクロ経済学 内 容: マクロ経済学誕生の歴史的背景やケインズの学説について</p> <p>教科書・指定図書: スライドおよび配布プリント</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): マルクスと社会主義・共産主義 内 容: 社会主義誕生の歴史的背景やマルクスの学説について</p> <p>教科書・指定図書: スライドおよび配布プリント</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): ヴェブレンと大衆消費社会 内 容: 大衆消費社会の形成と顕示的消費のアイデアなどについて</p> <p>教科書・指定図書: スライドおよび配布プリント</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): シュンペーターとイノベーション 内 容: 創造的破壊などの概念やシュンペーターの経済社会観について</p> <p>教科書・指定図書: スライドおよび配布プリント</p>

第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): サミュエルソンと新古典派総合 内 容: ミクロ経済学とマクロ経済学の関係について</p> <p>教科書・指定図書: スライドおよび配布プリント</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): フリードマンとマネタリズム 内 容: リバタリアニズムやマネタリズムの学説について</p> <p>教科書・指定図書: スライドおよび配布プリント</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): 前半のまとめ 内 容: 第2回から第7回の復習(課題研究によって実施します)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): 後半のまとめ 内 容: 第8回から第12回の復習(課題研究によって実施します)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): 全体のまとめ 内 容: 経済学説史全般について(課題研究によって実施します)</p> <p>教科書・指定図書</p>
試 験	<p>講義中課題とレポート課題から総合的に評価します。</p>